

第3学年 英語科学習指導案

対象： 第3学年2組 33名

授業者： HRT 鈴木 陽奈

研究主題

自分の考えや想いを表現しようとする児童の育成
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

1 単元名 できます！（スポーツ・楽器） (Lesson Plan Unit 10)

2 単元の目標

友達ともっと仲良くなるために、相手に分かりやすいように工夫しながら、できることを尋ねたり紹介したりして伝え合う。

3 関連する荒川区小学校英語科指導指針における領域別目標

話すこと [発表]	イ 自分のことについて、人前で実物等を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	できることについて話すことに慣れ親しんでいる。	相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話している。	相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話そうとしている。

5 指導観

(1) 単元観

本単元では、スポーツや楽器の言い方やできることについての表現に慣れ親しみ、相手に分かりやすいように工夫しながら伝え合い、友達ともっと仲良くなることをねらいとしている。そのために、4時間の学習を通して、必要な表現を繰り返し取り入れ、慣れ親しむことができるようにする。また、互いのことを紹介し合って、友達ともっと仲良くなろうという「単元のゴール」を意識しながら、目的意識をもって毎時間の活動に取り組むことができるようにする。

(2) 児童観

本学級の児童は、歌やチャンツなどを楽しみながら学習に取り組んでいる。また、言語活動においても英語を用いて話してみようとする意欲的な児童が多い。特に、ゲームの要素を取り入れた活動に意欲的な様子が見られ、ゲームを通して語句や表現への慣れ親しみが深まっている様子が見られる。

(3) 教材観

荒川区小学校英語科 Lesson Plan (第3学年) をベースとして、児童の英語への興味及び関心が高まるような授業を作り上げていく。言語を習得する過程では、ミッシングゲームやキーワードゲームなどの慣れ親しんだゲームを取り入れ、安心して学習に取り組むことができるようにする。

また、英語科副読本「Let's Try!」のデジタル教科書には、「道具箱」の中に歌やチャンツが豊富に入っており、適宜使用している。本校に従来からあるラミネート資料や掲示物を活用し、歌やアクティビティを通して単元が進むごとに英語での語句や表現に慣れ親しめるようにしていく。

【主な言語材料】

- ・ Can you ~ ?
- ・ Yes, I can. / No, I can't.
- ・ I can ~.
- ・ スポーツ、楽器
- ・ 反応 (Me, too. That's good [nice / great] ! など)

6 研究主題に迫る手だて

(1) 『本当に伝えたいこと』を豊かに表現するための言語活動の工夫

「友達ともっと仲良くなる」という「単元のゴール」に向けて、友達のことを知るための活動を設定する。互いの好きなものや得意なことを伝え合う活動は、他の教科や係活動等でも行われてきたが、日常的な活動が、「英語でもできた」という経験の機会となるようにする。

(2) コミュニケーションを豊かにする工夫

・ 言語コミュニケーションの工夫

あいさつや感情表現が自然に出てくるよう、「Pam and Ted の一言表現集」に継続して取り組む。また、リアクションカードの掲示や English Day など、日常的に豊かなコミュニケーションを意識できる環境を作る。

・ 非言語コミュニケーションの工夫

相手に分かりやすく伝えるために、“Eye contact” “Clear voice” “Reaction” “Gesture” をコミュニケーションスキルの一つとして大切にさせる。意識して取り組むことができるように具体例を教室内に掲示したり、活動の振り返りをこまめにしたりすることで、達成感をもちながら活動できるようにする。

(3) 教師の語り掛け、英語での指示の工夫

教師が楽しみながら授業を行うことを大切にするとともに、英語を話そうとする姿を見せることで、児童の「英語で話すことにチャレンジしてみよう」という意欲を高めることにつなげる。また、活動に入る前のデモンストレーションと提示物を工夫し、スムーズに活動できるようにする。

7 単元計画（全4時間扱い）

時	◆目標 ○主な学習内容・活動 ★研究の手だてとの関連	※留意点 □評価
1	<p>◆できることを表す表現や尋ね方を知り、聞いたり言ったりする。</p> <p>○Greeting：日直が挨拶をする。 ○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。 ○Songs and Chants：“Pam and Ted” “I can cook.” “I can play the recorder.”</p> <p>★Unit Goal:「単元のゴール」を示す。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>できることを伝え合って、友達ともっとなかよくなろう。</p> </div> <p>○Today's Lesson：Small Talk(できるスポーツや楽器の言い方とそれに対する反応)を聞き、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>できることの言い方を知ろう。</p> </div> <p>★Activity 1:「ミッシングゲーム」 ①指導者は、カードを一つ選んで隠す。 ②隠されたカードを当てる。</p> <p>★Activity 2:「キーワードゲーム」 ①ペアを作り、お互いの真ん中に消しゴムを置く。 ②指導者が口にする単語を、児童が繰り返し発音する。 ③キーワードとなる単語が出たら、消しゴムをとる。 ④素早く消しゴムを取った人の勝ち。</p> <p>○Reflection：振り返りカードに記入する。 ○Goodbye Greeting: 日直が挨拶をする。</p>	<p>※単元終末の活動への見通しがもてるようにする。 ※NEAの発音を聞いて繰り返し発音することで、日本語のカタカナ言葉との違いに気付かせる。</p> <p>※具体的な「単元のゴール」を示し、学習の動機付けを図る。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
2 本 時	<p>◆できること、できないことについて話したり、聞いたりする。</p> <p>○Greeting：日直が挨拶をする。 ○Daily Questions：指導者が質問し、児童が答える。 ○Songs and Chants：“Pam and Ted” “I can cook.” “I can play the recorder.”</p> <p>○Today's Lesson：(Small Talk、めあてと見通しの確認、I can ~. I can't ~.の言い方を知る。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>できること、できないことを言ってみよう。</p> </div> <p>★Activity 1:「インタビューゲーム」 ①指導者ができることについて質問する。 ②答えの場所に移動する。</p>	<p>※活動の中間に、よいやり取りを紹介し称賛する。</p>

	<p>③できること、できないことについて話す練習をする。</p> <p>★Activity 2:「ラッキーカードゲーム」</p> <p>①動詞カードを一枚ずつもらう。</p> <p>②持っているカードについて、I can ~. I can't ~. を使って伝え合い、カードを交換する。</p> <p>③ラッキーカードを最後に発表する。</p> <p>④ラッキーカードを持っている児童がゲームの勝者。</p> <p>○Reflection : 振り返りカードに記入する。</p> <p>○Goodbye Greeting: 日直が挨拶をする。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
3	<p>◆できることを尋ねたり、答えたりする言い方を知り、慣れ親しむ。</p> <p>○Greeting : 日直が挨拶をする。</p> <p>○Daily Questions : 指導者が質問し、児童が答える。</p> <p>○Songs and Chants : “Pam and Ted” “I can cook.” “I can play the recorder.”</p> <p>○Today’s Lesson : (Small Talk、めあてと見通しの確認、できることの尋ね方、答え方、スポーツ、楽器の言い方や反応を示す表現の確認。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>できることについて、たずねたり、答えたりしよう。</p> </div> <p>★Activity 1:「予想ゲーム」</p> <p>①解答者は黒板を背にして座る。</p> <p>②指導者が尋ねたい動作カードを1枚決め、黒板に貼る。</p> <p>③他の児童は、解答者ができるかできないかを予想し、尋ねる。</p> <p>④解答者は質問に答える。</p> <p>★Activity 2:「質問ゲーム」</p> <p>①動詞カードを裏返しにして重ねる。</p> <p>②児童がカードの山から1枚取る。その他の児童は取ったカードを見て、できるかどうか尋ね、取った児童が答える。</p> <p>○Reflection : 振り返りカードに記入する。</p> <p>○Goodbye Greeting: 日直が挨拶をする。</p>	<p>※アイコンタクト、声の大きさ、リアクションなどを確認し、児童が話すときに意識できるようにする。</p> <p>※何を聞かれているのか、注意して聞き取るように確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【知・技】 できることについて話すことに慣れ親しんでいる。 (行動観察、振り返りカード)</p> </div>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、できること、できないことを紹介する。</p> <p>○Greeting : 日直が挨拶をする。</p> <p>○Daily Questions : 指導者が質問し、児童が答える。</p> <p>○Songs and Chants : Pam and Ted I can cook. I can play the recorder.</p> <p>○Today’s Lesson :</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手に伝わるようにくふうして、できること、できないことを発表しよう。</p> </div>	<p>※アイコンタクト、声の大きさ、リアクションなどを確認し、児童が話すときに意識できるようにする。</p>

<p>○Activity 1:「スピーチ」 ①指導者のスピーチを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Hello! I'm ~. I can ~. I can't ~. Can you ~? Thank you.</p> </div> <p>②よい発表の仕方を全体で確認する。 ③スピーチの練習をする。 ④グループで発表する。 ⑤指導者による中間評価を聞き、自分の発表を振り返る。 ⑥もう一度スピーチをする。</p> <p>○Reflection：振り返りカードに記入する。 ○Goodbye Greeting: 日直が挨拶をする。</p>	<p>※活動の中間に、よいやり取りを紹介し称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【思・判・表】 相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話している。 (行動観察、振り返りカード)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【主】 相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話そうとしている。 (行動観察、振り返りカード)</p> </div>
---	---

8 評価規準に基づいた具体的な評価計画

《話すこと[発表]》

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
2	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
3	<p>できることについて話すことに慣れ親しんでいる。 (行動観察、振り返りカード)</p>		
4		<p>相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話している。 (行動観察、振り返りカード)</p>	<p>相手に伝わるように工夫しながら、自分のできること、できないことを話そうとしている。 (行動観察、振り返りカード)</p>

※なお、本時は第2時のため、記録に残す評価を行わない。

9 本時（2／4）

（1）目標

できること、できないことについて話したり、聞いたりする。

（2）展開

学習の流れ	○主な学習活動 ★研究の手だてとの関連	主な英語表現・ 語句	※留意点 □評価
Greeting	○日直が挨拶をする。	Today's English leaders, please come to the front.	
Daily Questions	○日直が質問し、全員が答える。 ○名札を配る。	What's the date today?など	
Unit Goal	★「単元のゴール」を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">できることを伝え合って、友達ともっとなかよくなろう。</div>		
Songs and Chants	○“Pam and Ted” “I can cook.” “I can play the recorder.”	Let's practice. Are you ready?	
Today's Lesson	○スモールトーク HRTによるできることの紹介。 ○今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">できること、できないことを言ってみよう。</div> ○できることの言い方を確認する。 ○できないことの言い方や、反応を示す表現を知る。	Today's goal is ~.	
Activity 1	★「インタビューゲーム」 ①指導者ができることについて質問する。 ②答えの場所に移動する。 ③できること、できないことについて話す練習をする。 ★「ラッキーカードゲーム」 ①指導者のやり取りを見る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A & B: Hello. A: I can swim. B: Oh, you can swim. That's good. B: I can play the piano. A: That's nice! A & B: Here you are. A & B: Thank you. Bye.</div>	Can you play the piano? I can play the piano. I can't play the piano.	※児童の回答に対して、指導者はリアクションをしたり、質問したりして英語でのコミュニケーションを充実させる。 ※指導者がモデルを提示する。 ※話し手は、アイコンタクト、はっきりした声で言うなどを確認する。 ※聞き手は、反応を示しながら聞くとよいことを確認する。 ※ゲームを楽しみながら、表現に慣れ親しむことができるようにする。

	<p>②動詞カードを一枚ずつもつ。</p> <p>③持っているカードについて、I can ~. I can't ~. を使って伝え合い、カードを交換する。</p> <p>④指導者がラッキーカードを最後に発表する。</p> <p>⑤ラッキーカードを持っている児童がゲームの勝者となる。</p>		<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
Reflection	○振り返りカードを書く。	How was today's lesson? Please write your comment on your review card.	
Goodbye Greeting	○挨拶をする。	That's all for today.	

10 板書計画

